

令和7年度 大草小学校 学校評価集約版

令和8年2月13日

本表は、次のような基準で評価してもらった結果を集約したものです。

【4 よくあてはまる 3 ややあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない】

評価内容		評価平均				
		保護者	児童	教職員	平均	
□平均値は、回答者全体の数値の合計/回答者数 □斜体の数値は、昨年度のポイントを上回っているもの □網掛けがついている数値は、昨年度のポイントを下回っているもの						
めざす子供像	お	大きな憧れを抱く大草っ子 子供たち（自分）は目標に向かって何事にも前向きに取り組もうとしている。	3.1	3.4	3.1	3.2
	お	思いやりの心を持つ子（思いやり） 子供たち（自分）に優しい思いやりの心が育っている。	3.2	3.3	3.6	3.3
	く	工夫して学び続ける子（自信） 子供たち（自分）は、学力向上に向け、日々の学習に主体的に取り組んでいる。	3.2	3.2	2.9	3.1
	さ	最後までやり抜くたくましい子（挑戦） 子供たち（自分）にしんぼう強くやり抜こうとするたくましい心と体が育っている。	3.0	3.5	2.5	3.1
重点事項	1	心の教育の推進 （学校・先生・私たち）は、子供たちに思いやりや責任感などの豊かな心を育てようとしている。	3.1	3.7	3.8	3.5
	2	学力向上と授業改善 （学校・先生・私たち）は、複式授業の充実や、少人数のよさを生かしたきめ細かな指導で、学力 向上に努めている。	3.1	3.7	3.6	3.5
	3	健康・体力の増進と安全で美しい環境づくり （学校・先生・私たち）は、保健安全教育や食育、体力増進と美しい学校環境づくりに努めている。	3.2	3.8	3.6	3.6
	4	体験活動の充実 （学校・先生・私たち）は、愛校心、郷土愛、望ましい仲間意識などを育てるため、積極的に体験 活動を推進している。	3.6	3.7	3.8	3.7
	5	言語活動の充実や表現力の向上 （学校・先生・私たち）は読書の量や質の向上に努め、子供の語彙力を伸ばしたり、発表機会を意図的に設定したりして、自己表現力の育成及び向上に努めている。	3.2	3.5	3.7	3.4
	6	生徒指導の充実 （学校・先生・私たち）は、子供たちの規範意識を高め、基本的な生活習慣、集団の規律を身に付けさせる指導とともに、家庭と連携した生徒指導を進めている。	2.9	3.4	3.3	3.2
	7	地域とともにある学校づくりの推進 （学校・先生・私たち）は、家庭・地域と積極的に連携したり、HP・学校・学級便り等で、情報を発信したりして、開かれた学校づくりに努めている。	3.5	3.7	3.5	3.6
コメントから						
<ul style="list-style-type: none"> 大変お世話になっております。心身ともに健康に学校に通えていることに感謝しております。ありがとうございます。 先生の対応や言動は大丈夫でしょうか？大人も子供も思いやりをもって過ごしてほしいです。 子供たちの生活面・健康面に係る情報発信や保護者も学べる研修会をお願いします。 学校は、「いじめ」を先送りにする傾向がありますか？ 						

考察 1 課題について

平均「3.2ポイント以下」の項目について

- ① 大きな憧れをいだく大草っ子（目標に向かって何事にも前向きに取り組もうとしている。）
- ② 工夫して学び続ける子（学力向上に向け、日々の学習に主体的に取り組んでいる。）
- ③ 最後までやり抜くたくましい子（たくましい心と体が育っている。）
- ④ 生徒指導の充実（規範意識を高め、基本的な生活習慣、集団の規律を身に付けさせる指導とともに、家庭と連携した生徒指導を進めている。）

- ① 発達段階にもよりますが「夢・憧れ・目標」についての、指導があいまいで、意味理解が十分でなかった点や、「将来の夢は決まらずにないのか」という視点もあり、突き詰めた指導をしてこなかったことも理由の一因だと考えます。3学期は、教職員全体で共通理解を図り、子供たちの「目標」を明らかにし、現在も継続的に指導と支援を重ねています。
- ② 「主体的に学ぶ姿勢」については、本校に限らず重点的な課題です。複式授業の場面においては、子供たちが、自分たちで学習を進める場面もありますが、教師が介入できないために、内容についての「広がり」や「深まり」が難しい面もあります。「自学タイム」（月に1回）を設定し、自主学習の目的等を確認したり、子供たち同士の好実践を紹介し合う場面を設けたりしました。積極的に取り組む子が増えたり、友達の取組を参考にして学習の幅を広げたりしています。
- ③ 「粘り強く課題に取り組む姿勢」については、複式学級における指導スタイルの中で、習熟を図る時間を確保できない点や、子供たち自身に「成長には、努力が必要」という理解や実感が十分とはいえないことも原因と考えられます。授業で学習した内容をその日の宿題として取り組ませたり、苦手なものや間違っただけにもチャレンジするように促したりしています。また、2学期の終盤から「縄跳びタイム」を実施しています。自主的な活動ですが、積極的・継続的に取り組む子供が増えたり、できる技や回数も増えたりして、「努力が成長につながる」という実感につながれば良いと捉えています。
- ④ 小規模の学校だからこそ、子供たち同士、または、子供と教師も、とても仲が良かったり、すごく近い関係性であったりします。いい面もあり、その逆も然りです。例えば小さい社会であっても、子供たちの将来の姿も思い描きながら、ルールやマナーの大切さについては、教えたり、考えさせたりする必要があることを、教職員同士話し合い、今現在の課題を明確にしたうえで、共通理解と共通実践につなげています。最近では「挨拶と返事」「時間を守る」「シューズのかかとを踏まない」「朝、体操服に着替える」については、少しずつですが、変化と成果を感じています。

考察 2 次年度に向けて

上記の課題以外の項目は、どれも高いポイントで、「大草小の良さ（ストロングポイント）」と捉えます。28名の子供たちに対して、とても多くの方々が大草っ子を支援いただいていることや、大草ならではの行事や体験がたくさんあって、他では味わうことができない貴重な交流と経験をさせていただいていることに有難い想いで一杯です。きっと、子供たちには「豊かな心」「ふるさと（大草）愛」が育まれていることと思います。次年度は、今回明らかになった課題を解決するために、以下のことに取り組んでいきます。

次年度の重点事項・努力事項として

- ① 一人一人の「夢・憧れ・目標」を大切に、その実現のために継続的・効果的に支え励まします。
- ② 「主体的に学ぶ姿勢」を育むための、第一段階として基礎学力の向上と「分かった・できた」を実感できる授業を積み重ねます。
- ③ ①に関連して、挑戦と努力の過程を認めたり、評価したりする機会と目標をクリアした達成感を味わわせる機会を設定します。
- ④ 生徒指導に係る課題については、その詳細を調査分析し、適宜大人が介入したり、子供たち主体で解決させたりしながら、規範意識を高めていきます。また、自治的な活動にも力を入れます。